

令和3年度第1回 安芸太田町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和3年4月19日(月)	
招集場所	川・森・文化・交流センター3階 大会議室	
開閉会日時	開 会	令和3年4月19日(月) 午前9時30分
	閉 会	令和3年4月19日(月) 午前10時35分
出席・欠席委員	出席委員	橋本博明 二見吉康・清胤祐子・池野博文・河本千絵・川野法順
	欠席委員	—
職務により会議 に出席した者	<p>教育委員会事務局員</p> <p>教育次長 園田 哲也</p> <p>教育課長 瀬川 善博</p> <p>同課 主幹 免田久美子</p> <p>同課 主幹 林 健太郎</p> <p>同課 主幹 山本 康美</p> <p>同課課長補佐 江川 一康</p> <p>事務局</p> <p>総務課長 長尾 航治</p> <p>同課係長 川中志保子</p>	
協議事項	<p>報告</p> <p>1 町内学校等の状況について</p> <p>2 学校等の諸問題について</p> <p>協議</p> <p>1 新しい組織体制について</p> <p>2 学校配置適正化について</p>	

## 議 事 録

(午前9時30分 開会)

開会宣言

橋本町長あいさつ

二見教育長あいさつ

○総務課長

それでは、はじめに本日の全体の流れについて簡単にご説明申し上げます。

最初に報告事項ということで、学校等の状況を情報共有していきたいと思えます。それから、協議事項としておりますが、意見交換という流れでお願いできればと考えておりますけれども、新しい役場全体の組織体制、それから学校配置の適正化についてを議題としてまいりますので、よろしく申し上げます。

それでは、「2 報告事項」の(1)「町内学校等の状況について」及び(2)「学校等の諸問題について」を教育委員会事務局より説明してください。

○林主幹

(1) 「町内学校等の状況について」資料により報告。

(学校・保育所・こども園の教職員体制及び児童生徒数等の報告)

○山本主幹

(2) 「学校等の諸問題について」資料により報告

(令和2年度の学校における諸問題の状況等を報告)

○総務課長

ありがとうございました。以上2点、教育委員会事務局より報告いただきました。

委員の皆さんから質疑あれば頂戴したいと思います。(なし)

先ほど報告いただきました学校の状況の中で働き方改革ということがありましたが、保育所・こども園につきましては、本年度より教育委員会所管での管理をお願いすることとなります。学校と同様、出退勤についてはタイムカードの運用が行えるよう、総務課で予算措置して各園所に配備させていただきますのでお知りおき願います。

以上で2の報告事項については終了させていただきます。

○総務課長

それでは、「3 協議事項」に入らせていただきたいと思います。

(1) 新しい組織体制につきましては、資料3・資料4にて役場全体の組織の変化と人員の配置体制について整理させていただいておりますのでご参考いただければと思いますが、本件につきましては町長より改革の狙い等について詳しく説明があらうと思いますのでよろしく申し上げます。

#### ○橋本町長

新しい組織体制ということで説明をさせていただければと思います。

今回の組織改革は、やはり町の人口が減っていく中で職員の数も減らしていかなければいけないということで、職員を減らしていきながらも住民サービスを確保していかなければならないわけで、これまで以上に効率的で効果的な業務ができる体制を作っていく必要があると私なりに感じております。

人口が減っても仕事の中身というのは、小さな町であらうが大きな町であらうが、範囲は変わらないわけでございますので、そうすると何が起こるかと言いますと一人ひとりが抱える業務量というのが小さい町ほど増えていくんであらうというふうに感じております。

ではそれをどうやって改善していくのか私として思っておりますのが、やはり一人だけで仕事をするのではなく職員同士連携しながら仕事をしていく体制、組織を作っていくことではないかと感じておりました。

今回何をしたのかと言いますと、課長クラスの方々が一斉に退職するというのも背景にあったのですが、この際関連する業務を抱えている課を統合させていただいて、課ごとの人数を増やすということ、本町は係長制度を導入しておりますので、それぞれの業務の責任者は明確になっているのですが、係長だけで仕事をするのではなくて課全体で連携しながら、忙しい時には助け合いながら、そのことによって業務の効率化が図れると考え、私なりにこの機構改革を実施させていただきました。

教育委員会事務局についても課をそれぞれまとめさせていただき、今回は児童育成課の業務も入れさせていただきました。

ひとつは組織として大きくなった教育委員会事務局の中で担当はそれぞれあると思いますけれども、ぜひその担当の垣根を超えながら、これまで以上に連携をしてもらいながら仕事を進めていただきたいと思います。

もうひとつは、私なりに力を入れているあるいは特色ある分野の仕事をしている課については充実強化させていただきました。教育委員会事務局もその一つでございます。

先ほど教育長のご挨拶の中でもあったように、義務教育の分野だけではなく、就学前の児童教育、保育。それから加計高校の対応等もまとめて対応していただきたいと思いますというふうに思っております。

生涯学習も含めて町民の皆さんの生まれてから亡くなるまでを通して、教育について扱っていただく。私なりに意欲的なチャレンジだと思っておりますので、是非皆さんのお力添えいただきながら進めさせていただければと思っております。

新しい挑戦をさせていただくという意味では、これまで以上にこの教育について経験をもっておられる方に仕事をしていただかなくてはならない。特に加計高校の存続、教育内容の充実、新しく寮を作らせていただくわけですが、寮の運営も大きなテーマになっていくと思いますが、これまで県の教育委員会におられた二見教育長のこれまでの経験が重要になって、今まで以上に力を貸していただきたいということで再任をさせていただいて引き続き、教育についてお力をいただきたいと思っております。

新しいチャレンジですので、なかなか他の地域の事例を参考にするという事は難しいので、教育委員の皆さまにも新しいチャレンジだと思うのですが、是非、お力をお借りしながら、将来を通じた教育或いは森の幼稚園のチャレンジ、その中の一つには、保育園の職場環境の改善といったことも、大きなテーマになるのではないかと考えております。引き続きその際には力をお借りしながら安芸太田町の教育行政これまで以上に理解をして頂きたいと思っております。

教育長も仰っていただきました、従来の教育も大きく変わってきて一度は行政を教育委員会が離れたこともあったんでしょうが、これが社会環境の変化によって、より協力しながら、仕事を進めていく感じになっていると思っております。行政としては環境を整え、その中で現場の皆さまには本町らしい特色ある教育を行っていただきたいと思っております。皆さまのお力添えをよろしく願います。

#### ○総務課長

既に教育委員の皆さまにおかれましては、教育委員会議で3月定例会に上程する前に内容についてはご確認をいただいていると思っております。

町長から説明がございました、組織体制、どういったことを教育委員会の組織に求めていくかについて、少し意見交換をしていただければと思っております。

#### ○池野教育委員

以前から感じておりましたが、各個人が担当の仕事をもつという方式で、その職員でなければ他の者はその業務内容を把握できないといった状況があったと思えます。町長からあったように、お互いに連携して業務に関してもコミュニケーションをとっていけるような組織になればよいと思っております。

#### ○総務課長

ありがとうございます。ほかにございませんか。

#### ○二見教育長

3月までの教育委員会は確かに二つの課があったんですけど、例えばプールを掃除するとか、放課後子ども教室に生涯学習のスタッフだけでは足りないというところとか、あるいは、スクールバスの運行を職員が運転しなくてはならないとか、課を超えてやっていますので、教育委員会としてはお互いに助け合いながらやるという風潮できている。今回特に児童育成課のメンバーが入ってくれていますけども、

中で児童育成の関連事業の仕事だけしているかということ、そうではなくて、専門分野を守りながらも、学校教育関係も、生涯学習関係も両方に関わるような感じで分担をしてくれているので、それも組織的にもできているかなと、今まで通りお互い助け合いながら、委員さんも見てくださいように、そういう雰囲気もあるんじゃないかなと思うんですけど、みんなが非常に和気あいあいと、コミュニティもいいんじゃないかなと感じます。

#### ○橋本町長

具体的な業務の配分を課長にお任せして部分もあります。その中でまずは対応していかなくちやいけないかなと思っておりませんが、一方で、私は私で覚悟してもらわなくてはいけないと思っていまして、一つは案件に応じてプロジェクトチームといたしますけども、その課だけではない、関連する課の課長さんや担当者に集まっていたいただいて、業務を進めていくという手法。

もう一つは、今回の総務課長にも頑張ってもらって、今まで課長会議というのを月1回やっていたんですが、どちらかというとな政策的な課題を議論する場ではなかったんですね。政策によっては、役場全体で議論しなくてはいけないのではないかと。そういう問題はやっぱりそういう問題として、きちんと議論する場を作りたいなというところで、それを政策会議という場で月1回くらいは開いて、役場全体が共有しなければいけない問題意識について議論する場を作ろうと思います。

そうすることによって、逆にいうと自分と関係ない仕事でも、皆さん興味を持ってもらいながら仕事を進める環境を作っていきたいなと思ってます。

#### ○清胤教育委員

就学前のこども園・保育所の先生方にお話しをさせていただける機会をいただきまして、本当にありがたいと思っております。三つ子の魂百までと申しますよね。ですから、小学校以前の就学前の子ども達の保育教育に関わる方々と関わる、現場と触れ合う環境を作っていたいただいたということに感謝しています。

他の役場の比較するのはおかしい事かもしれないけれど、この教育委員会（事務局職員）の子ども達に対する思いや仕事ぶりについて、プロ意識が強く、皆さん方の連携も素晴らしいのではないかと思います。役場の他の課に関しては、私知らない方が多いんですけども、町の方に聞くのに、困ったことがあって本当に困って困って電話で相談されるのに、それに関するプロとしての回答がなかなか得られない。具体的にどうすればいいのか。たらい回しになって終わり見たいなところを時々地域の方からご意見としてお話しいただくので、いろいろ事例があって、事務のプロになるというのも難しいとは思いますが、町民の方々にとって頼りの存在ですので、そういう意味で各課でプロ意識を持っていただきたいというのが一番です。

それから、町長さん最初のご挨拶で、人口が減ると役場職員を縮小していかざるを得ないという内容のことがありましたけれど、それは当然のことだとも思います。そのような中でどうして課が少なくなったのかとか、どういう点で課を統合し

たかなどといったことが、わかりにくい部分もあると思いますので、そういったところをご説明いただければと思います。

#### ○橋本町長

先に仰っていただいた、プロとしての回答ですね、改めて私も肝に銘じて仕事しなくてはいけないと感じさせていただきました。ご指摘のように、頼りにするとしたら役場しかない中で、行政間としてきちんとプロとして答えることができると、職員を育てていくということが重要になると思います。改めてむしろこれから頑張らなくてはいけないことだと思いますので、しっかり受け止めさせていただきながら、取り組みをさせていただければと思っております。

その上で組織の方の、今度広報の方に少しこういう趣旨で課をまとめさせていただいたかというのは出させて頂かなければいけないと思っておりますが、この中身について、もう少しお話をさせていただきます。

すこし工夫させていただいたのが、産業振興課と商業観光課をこれを二つまとめさせていただきます。色んな観点があるんですが、私の選挙の中で自然を活かした産業振興を進めます。という話をさせてもらいました。人口減少というのも、毎回お話をさせていただいているのですが、色んな人口減少の課題の中で、特に安芸太田町の中で亡くなっていく方が多いのと、出て行く方と入って行く方だと、出て行く方の方が多いということで、二つ要因があるんですね。亡くなっていく方はすぐに数を減らしていくのは難しいんですが、出て行く方を減らしていくのは何かしら、産業的な政策的な取り組みで、抑えられることが出来るのではないかと思います。出て行かれる方の理由で一番多いのが、特に今年昨年度、就職難です。仕事が無い、雇用が無い、そこが何とかしていかなければ、折角住みたいと仰っていただいても、住み続けることができない。そういう意味で改めて、産業振興というのは大変重要だなと思っております。

産業振興の中で特に自然を活かした、振興ということで観光ですとか、農業林業といった一次産業ですね、そういう分野が重要なのではないかと思います。今回今まで二つあった課を一つにまとめさせていただいて、より産業振興ということをお観光だけとか、林業、農業だけでなくそれぞれが連携をしながら、進められる体制を作らせていただきました。

特に本町の場合、道の駅を新しく再整理するのを大きなテーマになっておりまして、ここ最近の仕事の中でも一番大きな仕事になるんじゃないかなと思うのですが、道の駅というのも考えてみると観光だけではなくて、お土産品を考えると、商業関係も大きなテーマなんですね。道の駅で野菜が一番大きいんですが、野菜を売ること考えても、農業との大きな関係があると思います。そういった意味で今回一緒にまとめさせていただいて、進めさせていただくと。

また、今回地域づくり課も無くさせていただくというか、住民課、企画課の中に入っています。これは、課長職のポストが少なくなっているというのも、大きな原因ではあったんですが、これまで以上に住民課の中で地域づくり課がやっていた、自治振興の関係については取り組むことによって、住民課がある意味、町民の皆さ

まの全体の窓口的な役割をはたしてもらふことによって、住民自治もしっかり進めたいという思い込めてこれをまとめさせていただいています。

また、企画課については、これまで加計高校の対応ですとか個別の案件を抱えてたんですが、どちらかというところ少し個別の案件というのは各担当課に割り振らせてもらって、企画課自体はもう少し町全体の政策の連携というのを担ってもらふ役割を果たすべきではないかなと、町全体の政策の連携も進めながら、また長期総合計画を立てさせていただいて、目標設定をしながら仕事を進めるということもやっておりますので、そこら辺の目標を達成したかどうか、という部分のみならず、最終的には企画課が、連携の先に町全体のグランディングというんですか、安芸太田町全体がこういう方向に進むんだというビジョンをつくっていく役割を果たしてもらわなくてはいけないのではないかなという思いもあって、少し企画課の中も変えさせていただくと。それぞれ各課、新たな仕事の設定させていただきながら、統合という意味ではそういう形でやらさせていただいたのですが、もう一つは各課長に、それぞれの課が今年はどういう仕事をしてもらいたいかなというのが、提示してもらっているんです。それは当然教育委員会にも、そういう形を入れさせていただきますが、課長には私の方から年間の目標を提出してもらって、その目標を達成するためには、課内の仕事を割り振りをどうしていくか、年間スケジュールをどうしていくかというのを課長に考えてもらって、それをしっかりチェックさせてもらいながら、仕事を進めていくという体制を今回は作らせてもらいました。

急には出来ないかもしれませんが、そういう取り組みをしながら、進めさせていただいております。

#### ○川野教育委員

的外れな質問だったら申し訳ないんですけど、先ほど雇用がないので定住ができないと。僕の友達でも周りの人でも仕事が無いからやっぱり、外に出てしまう。今回加計高校の卒業生が千代田に就職したと。ここから通うのは中々難しいので、向こうへ住んでしまおうというケースであったりだとか、同級生であっても、中々帰って来ないという理由もその、町が不便だという理由もあるけれども、仕事が無いから、帰ってこれないという方は結構おられるんです。

仕事先はどこかと聞いた時に役場とか、農協であったり、そういう工場系であったり福祉であったり、そういったところの仕事になるのは致し方ない事だと思うんですけども、個人的な意見として、役場職員を減らすということですが、それを率先して公的職場の人員を減らすということをしてしまうと、どんどん若い世代というのは居なくなって、学校の子どもの人数というのも減って来てしまうのではないかなということもあるので、絶対的な人数というのを率先して減らすのはちょっと止めてほしいなと個人的な意見としてはありますね。そういう結果は仕事先があるということは、定住もして安芸太田町に住んでみようかという、ところに繋がるのではないかなというのが個人的な意見です。

#### ○総務課長

役場の人事と財政を預かる担当課でございますので、私から回答させていただきます。確かに委員さんの仰る通り、役場というのは非常に大きな雇用の場になっています。そして半面教育委員さん、皆さんよくご存知だと思うんですが、国の施策の推進というところを見れば、地方自治の職員に関しては、限られた人数で自治事務をやってほしいというような流れの中で、近年では類似団体という地方自治体の中でも同じような財政規模であったり、人口であったりというところを一括りにして、類似団体比較というものを出します。

そうした時に私どもの町は、類似団体と比較すると、この職員の定数でいうと、ぶっちぎりナンバーワースト1というような状況でございます。そういった状況を打破すると強い信念の中で、橋本町長がそれを実際に実施していくには、どうしたら良いのかということで組織の機構改革というところに着眼をされ、今回9人の定数減というような形で取り組みをしています。これにより、類似団体比較で言いますと、ようやくワースト1から抜け出せたというような状況でございます。

また、一つには人件費、町の予算を大きく圧迫します。今回の取り組みによりまして、6,500万円程度の一般財源の確保が出来ていると、確保出来た財源を福祉や医療また教育に予算を配分しているというのが、実態でございます。

## ○二見教育長

教育委員会も努力しないといけないんですが、一緒に協力していきたいと思っています。せっかく、児童育成課と教育委員会、いわゆる学校教育と保育を一体化したという、そしてこの高校までのこれは全国に非常に例の少ない状況です。これをしっかり、PRしてIターン、Uターンの呼び込みの材料の一つにすると良いと思うんですよね。

生まれてから、高校卒業するまで一貫した保育教育ができています。まず仕事は別にしても、まずはあの町に住もうというふうな素材にしていく良い材料だと思うんですよ。町のホームページにもスクラッチしてあるし、他の部局とも協力いただいて一緒になって転入者を増やすというふうにできればと思っています。

## ○橋本町長

教育長、是非そのような形でPRさせてさせていただけるように、進めたいと思いますし、例えばそういう連携をしたときの具体的なこういう取り組みをしますみたいなのががあると宣伝がしやすかったりします。是非うちへ言っていただければなということが一つと、川野教育委員が仰ったように、雇用が重要だと思ひまして、特にうちの場合、高校生さんが卒業した時に、例えば町に残って仕事をしてもらおうとすると、どんな仕事をご用意すれば良いかというのは、せっかく教育委員会の中で加計高校の対応を受け止めて頂くものですから、それに何かアイデアがあれば、ご提示いただければなと思っています。必ずしもすぐ仕事に就かなくても良いと思うのですが、一旦大学とかに出られて、また戻るときにどういう仕事があったかなと、安芸太田町に戻って、やっぱり仕事してみようということになるかですね、もちろん従来の、役場もそういう魅力を作っていかなければいけないでしょう



けどもそういう、既にある雇用だけではなくて新たなというか違う良いところがあればですね。我々もすごく悩んでまして、是非ご教示いただければ有難いかなと思います。

○清胤教育委員

高校を卒業したらこんな職場がありますよという。パンフレットじゃないけど、そういうのが出来て、どこかの課がお電話いただいた時にそれにパッと対応できるような、就職活動する時に安芸太田町には、ここに電話してくださいって窓口を作られたら、まずは故郷の安芸太田町に帰って就職したいなと思って、まず電話一本入れるという作業が準備できたら、そういうことなるんじゃないかなと思いました。どうしたら良いか分からないという声を聞きますので。

○橋本町長

重要な示唆になりました。早速対応させていただければと思います。

○総務課長

故郷回帰ということについて、現行の教育大綱とかもみじプランとかにも示されていますので、しっかり取り組みができればと思います。

それでは、最後の項目となります、3（2）の学校配置適正化についてといことで、学校配置適正化につきましては、第三次学校配置適正化計画に基づきまして学校の適正化を進めて頂いて参りましたけども、現在の各学校の状況等について、教育委員会の方から説明いただき、また協議出来ればと思いますので、宜しくお願いします。

○林主幹

各学校等の状況や学校運営協議会設置等について説明

○総務課長

私もこの1年PTAの役員をやらせてもらってんですが、学校運営協議会では非常に活発で熱心な議論をされているということ、また、赤い羽根募金等の取り組みの中で、中学校区だけではなく小学校区にも輪を広げて行こうではないかというような話も伺っておるところでございます。非常にいい取り組みだなと思っています。

せっかく学校の適正配置ということが達成したのであれば、そういった取り組みというのは、非常に重要になってくると思っております。委員の皆さんからまたご意見を頂戴したいと思いますので、宜しくお願いします。

○総務課長

特に無いようであれば、学校の第三次学校配置適正化の中で、取り組みがされています、上殿小学校、現在、予算の方計上させていただいて、耐震関連の調査とい

うの実施を教育委員会の方にさせていただいていると思いますので、この進捗状況等について次長の方からしていただければと思います。

#### ○園田教育次長

上殿小学校の耐震関連の現在の状況です。令和2年度の予算ですが、安心・安全を子ども達を守るということの観点も含めて、耐震の調査を行っておるところです。

基本的には、内部協議だけではなくて、外部の色々な機関の協議を経た中で決定をするということもありまして、年度内の完了が難しいということで予算については繰越をして、今年度に引き続き今現在事業となっているところです。

今の見込みですと、6月にかけて一定の方向性が報告をされるものという形のもので出ておりますので、この報告結果が出次第、また教育委員会議等を開催させていただきまして、皆さまにお諮りをさせていただきたいと考えておるところでございます。

#### ○総務課長

この件について何か質疑等あればお願いします。

また、現状については、最終的なものが教育委員会議の方へ示されるということですので、よろしくをお願いします。

#### ○池野教育委員

子ども達にとってどういう環境が一番望ましいかということで、議論を進めていくべきだと考えます。

#### ○二見教育長

今一番、上殿小学校が厳しい状況というのが、なかなか戸河内小学校も筒賀小学校も複式学級を抱えています。入学当初の一番丁寧にやらないといけないところで、どうしても人数的に低学年まで複式でやらざるを得ないというように厳しいんですね。そこが大きな課題だと思います。

1年生から複式というのも非常に心配される保護者が増えてきているという状況で、実は昨年コロナで、5月いっぱいまで休校した時に6月から再スタートしたんですが、一番大事な一年生の時に、複式の状況で短時間でやっていくのは厳しいので、上殿小、筒賀小、戸河内小を一緒にしてこの学年はこの学校に集まろう、この学年こっちに集まろうと、その時に一つは教室環境で、空調が厳しいとかトイレが厳しいとか色々あるんです。急遽、筒賀と戸河内に分散して短縮化して授業をやることで特に入学した一年生の課題を解決できたことが大きなところだと思います。

今、心配していただいているように環境を整えていく点では、非常に大事だと思います。調査結果は、どんな結果が出るか分かりませんが、引き続きこれまで適正配置に掲げられた、子どもの適正な規模と学級規模と我々が目指す主体的対話

的で深い学びを日常的に実現できるためにも、適正配置が必要だと訴えてきましたので、保護者にもそういったこともしっかりとご理解いただくように、引き続き頑張っていきたいなと思っております。

そういう意味で新しい年度に入りましたし、保育所から高校までの一貫した教育ということをしっかり訴えながら取り組まなくてはいけないかなと思っております。これについては教育委員会だけでは中々難しいので、町長さんともご相談しながらやっていかなくてはと思っております。

#### ○橋本町長

教育長の言われたとおりだと思います。学校適正配置の方針というのも既に決めていただいて、現状それを覆さなくてはいけない事実はないと私も思っております。

そういった意味では子どもさん方の教育環境を整えきれていない、行政の怠慢だと言われてもしょうがない状況だと私は思っております。その意味において出来るだけ早く子どもさん方の教育環境を整えるということを、担当次長や課長、委員と話しをさせていただいて、早い段階で保護者の皆さんと協議しながら、進めて行きたいというふうをお願いしております。私の方はその思いで取り組みさせていただきたいと思っております。次回からも、去年指摘を再三いただいておりますので、なんとか解決していききたいなと思っておりますので、皆さん方のお力添えいただければと思います。

#### ○総務課長

本日用意しておりました議題につきましては以上で終了させていただきたいと思っております。その他ありませんか。

それでは、この後教育委員会議も予定されているということですので、令和3年度の第1回安芸太田町総合教育会議を閉会します。

本日はありがとうございました。

(午前 10 時 35 分閉会)